

特集

今年こそ『古典』をひも解きたい！

- ♣ 扉 表紙絵を辿って① 佐藤礼次 1
- ♥ まなぶということ 小島正雄 2
- ♠ 詩 深夜のコンビニで 生駒孝子 4



まなぶということ

歴史を前に進める運動を

小島 正雄

新しい年を迎え「今年は良い年にしたい」と思われていることでしょう。

昨年就任された高市早苗総理は、日本初の女性首相ですが、女性の権利確立とは無縁の政策を進めようとしているようです。それどころか「台湾有事は日本の存立危機事態に」と、中国への集団的自衛権行使＝武力侵攻に踏み込んだ発言をして、日中関係の緊張度合いが一気に高まっています。

他方、国民の内閣支持率は70%台と高く、中国の「覇権主義」への反発もあつてか、高市首相の好戦的発言への批判者に対する非難がSNS上であふれかえっています。とくに若い人たちにその傾向が強いとの指摘もあります。

私が反戦平和の署名活動をしていた時に「この平和ボケが！」と言われたこともあります。14億8千万人を超える人口を擁する中国に武力行使することを喝采するなど、それこそ想像力の欠片もない

「平和ボケ」ではありませんか。

私が所属していた労働組合で、青年部の運動方針に「政治闘争や反戦平和のたたかいを記載しているから青年の結集が悪い」という意見が出され、議論になったことを思い出します。いざ武力紛争となれば、戦争に動員されるのは間違いない若者からです。だから反戦平和の声を上げるのは、まず若い人たちからです。

こう書いていくと、どんな未来が暗くなっているようですが、私たちの運動があれば歴史の逆転を食い止め、前に進めることは可能です。それが必然です。昨年の労大まなぶ全国集会に多くの若い仲間が参加され、分散学習等での話し合いを通じて、人間の歴史は被抑圧階級の闘いによって進められてきたことを学びました。

悲観したり、あきらめたりすることなく、かと言って単なる傍観者でいることなく、まず当面は、暮らしやすく働きやすい環境づくりに向けて、今年も仲間といっしょに学びながら、前を向いて行きましょう。

(労働大学まなぶ全国連絡会議代表)

共産党宣言 労働者の未来をさし示す …… 足立康次 6

賃労働と資本 搾取の仕組みが明快に分析された1冊 …… 平地一郎 10

賃金・価格および利潤 心に残った賃金制度の廃止 …… 菅原修一 13

空想から科学へ 自身の「飛躍」のために読む1冊 …… 芳賀和弥 17

帝国主義 資本主義の「最後の段階」と労働者 …… 熊谷重勝 21

国家と革命 革命前夜の提起から学ぶ課題 …… 田中秀樹 25

資本論 資本主義的生産様式を知るための武器 …… 川村訓史 28

マルクス自身の手による『資本論』の入門書 …… 豊島栄三郎 32

『資本論』学習会が生まれるまで …… 宮下正夫 34

職場の法律相談 会社前でのビラまきや金融機関への要請行動は営業妨害？ …… 五十嵐 潤 35

国家と教育 34 七生養護学校事件 意義と課題 …… 谷口 聡 53

「からまなぶ『賃金論』」9 労働力の売りと買い …… 菅原修一 57

実践労働法 ① 労働法逃れ許さじ …… 北川鑑一 61

- ◆ キャラバンサライ
- ◆ スポーツ時評
- ◆ メルボルン便り
- ◆ 経済を知ろう！
- ◆ 中国観看
- ◆ 働くものと健康
- ◆ たちみ席
- ◆ この本を読んで
- ◆ 北から南から
- ◆ センターと
- ◆ みなさんをつなぐ

48 46 44 42 40 38

68 65 52 50

カット＝野崎安希子